

蘆花記念公園グランドデザインプロジェクト（長柄桜山古墳群を含む）
第二回ワークショップの概要

- 日時 令和6年7月20日（土）9時30分～12時00分
- 市民の参加者 35名



1. 行政からの説明（9時30分～10時）

初めて参加された方がいたこともあり、プロジェクトの目的、前提条件の再確認をした後、第一回の成果とそれに対する行政の考え、アンケートで寄せられた質問に対する説明を行いました。

また（社）全国古民家再生協会 井上幸一（総務省地域力創造アドバイザー）より、他自治体の民間活用事例（群馬県前橋市、佐賀県有田町、熊本県山鹿市）を説明しました。

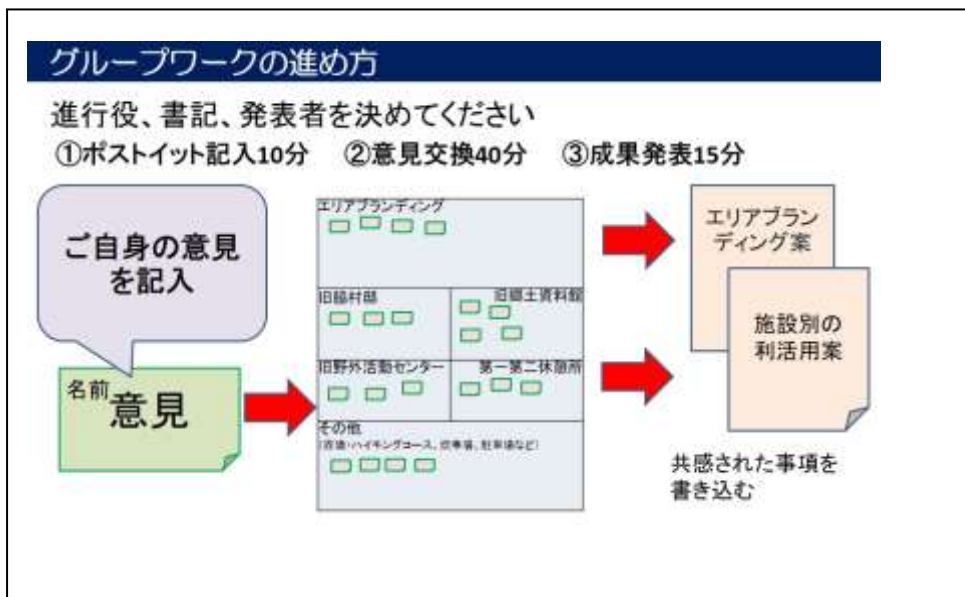
2. グループワーク（10時～11時30分）

- ①ポストイットの記入（10分間）②意見交換（60分間）③成果発表（20分間）

5グループに分かれ前回の成果を元に行政がまとめた「エリアブランディング案」と「各施設の利活用案」を添削するグループワークを行いました。

なお、意見交換は40分を予定していましたが、議論が多岐に及びまとめの作業時間が不足したため、時間延長を行いました。

※「エリアブランディング案」「各施設の利活用案」の実施結果は別紙



3. 全体でディスカッション（11時40分～12時）

各団体で共有してきた意見の発表を中心として7名の方から意見をいただきました。

内容は、自治会内で話し合ってきたことの報告、駐車場の利用方法、これからの逗子の担う若い人の参画、別荘文化を象徴する建物の保存活用、子ども達が自然の中で遊び育つ環境を守りたい等の意見が寄せられました。

行政からは、市民の共感が得られて初めて事業化できるものであり、無理に進めることは考えていないと説明しました。